

くらし・福祉をまもり 地域経済を元気に

日本共産党

新しい風を県政に

並木 としえ

元春日部市議会議員
(県議予定候補)



プロフィール

● 1960年東京都中野区生まれ、文教大学人間科学部卒業 ● 春日部市立第4保育所父母の会会長、春日部学童保育の会会長を歴任 ● 埼玉土建国保組合勤務を経て春日部市議会議員4期 ● 現在／党県委員、春日部市委員長

ごあいさつ
つらい戦争体験を経てむかえた老後に、医療や介護から閉め出される高齢者。派遣切りなど使いつての働き方と低賃金で将来の見通しも希望ももてない若者。「こんな政治でいいのか」という思いを何度も胸にきざんできました。
私は、いのちを育み、暮らしを支える女性の目線で、市民のみなさんの願いを必ず県政に生かします。

国政へも

県民の声を しっかり届けます



日本共産党

政治の責任で賃上げを主導

- 労働者派遣法を抜本改正して非正規社員を正社員にする
- 中小企業に手当をしながら最低賃金を時給1000円以上に引き上げる
- 雇用の7割を抱える中小企業を本格的に支援して大企業の労働者との賃金格差をなくしていく
- 日本航空のような無法解雇をやめさせて解雇規制のルールを強化する

大企業は空前の「カネあまり」(内部留保は244兆円)。賃上げは十分可能です。

農業も地域も 雇用も破壊する TPP参加には反対

TPP(環太平洋連携協定)は、関税を撤廃し、農産物の輸入完全自由化をすすめるものです。日本農業と地域経済に深刻な打撃となり、農水省の試算でも食糧自給率は現在の40%が14%にまで低下してしまいます。食料主権を守ることはその国の当然の権利です。

草の根の運動と結んで実現

日本共産党

日本共産党は全県の地方議員が力をあわせて、地方政治を大きく動かしてきました。



- 30の自治体で国保証のとりあげを中止させる
- 後期高齢者医療制度の保険料の引き下げを実現
- 障害児の特別支援学校を県が増設
- 周産期母子医療体制を県が整備・充実
- 医師確保へ医学生奨学金制度を県が創設

領土問題

マスコミも 「一番は共産党」

日本共産党は、中国、ロシアに、尖閣諸島、千島列島は日本の正当な領土として、国際的、歴史的な根拠があると主張。マスコミも「尖閣」アピール「一番は共産党」(読売新聞)と注目しています。